
知って下さい、朝鮮学校のこと、
朝鮮学校「無償化(排除)」問題・補助金停止問題のこと

朝鮮学校について どう思いますか？

「ハンニチキョーイクしてるんでしょ?」「日本の学校じゃないんだから「無償化」されなくても仕方ないよね」「サベツが嫌なら日本の学校に入ればいいのに」…そんな風に思っていますか。あるいは「朝鮮学校＝北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国、DPRK)の学校」と単純にとらえ、「何だか怖い」と思っていますか。

2010年に、いわゆる高校無償化法が閣議決定されました。これは高校(一条校)だけでなく、高校と同等と見なされる外国人学校やインターナショナルスクールも対象となっており、当初は朝鮮学校もそこに含まれていました。しかし様々な経緯を経て、朝鮮学校は対象外となってしまいました(現在、愛知・広島・福岡・東京などで在校生・卒業生が国家賠償請求裁判を起こしています)。また、それにならうように、それまで支給してきた補助金を停止・見直する自治体も出ています。

こうしたことについて「当然」「仕方がない」という意見は(残念ながら)少なくありません。しかし、そういう人のどれだけが朝鮮学校について知っているのでしょうか。たとえば、朝鮮学校がいつ、なぜ、どのようにできたか知っている人はどれくらいいるのでしょうか。あるいは、**国連の人種差別撤廃委員会が朝鮮学校差別を止めるよう日本政府に勧告していることを知っている人はどれくらいいるのでしょうか。**

日本に朝鮮学校が生まれたこと、そして日本が朝鮮学校にしてきたことは、日本の戦前・戦後の歴史と密接に関わっています。その意味で朝鮮学校の歴史や現状を知ることは、日本の歴史や現状、未来を考える上でも重要です。言い換えればこれは「朝鮮学校の問題」「在日コリアンの問題」ではなく「日本の問題」でもあるということです。

まずは知って下さい、朝鮮学校のこと。

そこに通う子どもたちのこと。

朝鮮学校を支えてきた、
たくさんの人たちのこと。

朝鮮学校無償化問題FAQ

<http://seesaawiki.jp/mushokamondai/d/>

※パソコン・携帯・スマートフォンでご覧になれます。



「無償化」反対派の主張 ▼

朝鮮学校は日本の法律(教育基本法・平成18年12月22日法律第120号)に基づかない、単なる各種学校・私塾に過ぎない。そのような学校に「無償化」を適用する必要はない。

反論 ▼

これは、「学校教育法の第1条に規定される学校(一条校)ではない」という「各種学校」についての説明を誤解したものと思われます。朝鮮学校は確かに「各種学校」ですが、各種学校についても学校教育法に明記・規定されていますから、「日本の法律に基づかない」というのは誤りです。

「無償化」反対派の主張 ▼

朝鮮学校は教育基本法にある一条校(注1)ではないのだから、「無償化」除外は当然だ。

反論 ▼

高校無償化法に対する根本的な誤解をしている人が少なくないのですが、この法律で支援されるのはいわゆる一条校(学校教育法一条で規定されている学校)だけでなく、「高等学校の課程に類する教育を行っている各種学校や専修学校」(外国人学校やインターナショナルスクールのほか、調理師学校や美容師学校の高校課程など)も含まれています。よって「一条校でないから」というのは朝鮮学校「無償化」除外の理由にはなりません。余談ですが「各種学校である朝鮮高校が「無償化」されるなら、同じ各種学校である自動車学校も「無償化」しろ」などという主張がしばしば見られますが、自動車学校では「高等学校の課程に類する」教育を行っていないので、当然「無償化」対象にはなり得ません。

(注1) 一条校:学校教育法(昭和22年法律第26号)の第1条に定められた、小学校・中学校・高校・大学などの、いわゆる「日本の普通の学校」。その教育課程は文部科学省が定める学習指導要領などに基づいて定められ、国からの助成金もある。朝鮮学校は民族教育を重視したカリキュラムを維持するため、一条校の認可を受けないでいる。

「無償化」反対派の主張 ▼

反日教育を行っている朝鮮学校を「無償化」する必要はない。

反論 ▼

そもそも「反日(教育)」という言葉が非常に曖昧である上に、このような主張をしている人が、具体的に朝鮮学校の教育のどこが「反日」的なのかを指摘することは皆無に近いのですが、それにも関わらずこうした主張を何となく信じている人も少なくないようです。朝鮮学校では公的機関による視察が何度も行われていますが、その際「反日教育が行われている」という報告がなされたことはありません。

朝鮮学校では、例えば「日本人を憎め」といったような教育はなされていません(わざわざこのような注釈をつけるのもばかばかしい話ですが)。仮にそんな教育をしたとしたら、おそらく生徒児童の保護者から猛反発を受けることでしょう。日本の社会で暮らしていく上でそのような教育を受けることにどんな利益があるのでしょうか。

このような、朝鮮学校「無償化」にまつわる、よくある誤解や否定論について書いています。そのほかにも、朝鮮学校の歴史をたどる年表などのコンテンツを用意しています。